		専門基礎分野	時期	科目のねらい				
教育	内容	人体の構造と機能	1年次					
授業	科目	解剖生理学 I	単位 1単位	─ 人体の構成成分である化学	勿所の外半し仕割な理像	カナマ		
担当	講師	松山 裕文 管理薬剤師経験:10年以上	時間数 30時間	── 八体の構成成为でめる化子4	勿員(クク1生小と) (南)を) 年月	# 9 S		
教	2	】 人間を身体的・精神的・社会的に 力を養う	 統合された存在と		で、変化しながら生活す	-る存在として理解できる能		
育目	3	人々の健康上の課題に応じて、科	学的根拠に基づい	ハた看護を展開できる基礎的能力	」を養う			
標	5	社会の変化の方向性を理解し、看 養う	護専門職として自	己啓発に励み、生涯にわたり看言	隻を探求し続ける姿勢を	持つための基礎的能力を		
	口 1	項目 生体を構成する物質とその代謝	生ル学を学 ど	内容	教授法	関連科目		
	1	生体を構成する物質とての代謝	生化学を学ぶ/	こめの 基礎知識	講義	基礎分野 人間工学		
				の基礎知識		八囘工子		
			生命とは	V / 全版 / H I I I		専門基礎分野		
			細胞の構造	レ機能		解剖生理学Ⅱ		
	2		代謝の基礎と酵素・補酵素		講義	解剖生理学Ⅲ		
	2		代謝の基礎と酵素・相酵素 代謝と生体のエネルギー		確認テスト	解剖生理学IV		
					7年かり へい	所司生母子IV 看護形態機能学		
			補因子	酵素の基礎知識		有暖が思検能子 病態と治療 I		
	3		ビタミン		講義	病態と治療Ⅱ		
	4		ポルフィリン	化 軸	確認テスト	病態と治療Ⅲ		
	5		糖質の構造と機			病態と治療IV		
			糖質とは	AIL .		病態と治療V		
			単糖の構造	と機能				
			二糖の構造			専門分野 I		
			多糖の構造			看護学概論		
	6		脂質の構造と機	後能	講義			
			脂質とは	脂質とは		専門分野Ⅱ		
			脂質の種類	脂質の種類		成人援助論Ⅲ		
学 習			リポタンパク	リポタンパク質		成人援助論IV		
習内	7		タンパク質の構	造と機能	講義	成人援助論V		
容			タンパク質と	は	確認テスト	老年援助論 I		
			アミノ酸			小児援助論 I		
			タンパク質の)構造				
	8		代謝		講義	統合分野		
	9		糖質代謝		確認テスト			
			脂質代謝					
			タンパク質化	た謝 しゅうしゅう				
	10	遺伝情報とその発現	遺伝子と核酸					
	11		遺伝子の複製・	・修復・組換え	講義			
			転写		確認テスト			
			翻訳と翻訳後個	多飾				
	12	細胞のシグナル伝達とがん	シグナル伝達		講義			
	13		シグナル伝	達の概要	確認テスト			
			細胞内シグ	ナル伝達の機序				
			内分泌の生	化学的基盤				
			がん					
	14	総まとめ			講義			
	15	終講試験	筆記試験					
評価 方法		筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9%	 そによるものとする					
		系統看護学講座 専門基礎分野	人体の構造と	幾能[2] 生化学 医学書院				
テキスト								
1								

教育	内容	専門基礎分野人体の構造と機能	時期 1年次	科目のねらい				
授業	科目		単位					
1人米	TIH	池田 峻弥	1単位 時間数	人体で営まれている生命現象のうち、 動・呼吸・内臓機能の調整)について		機能(からだの支持と運		
担当	講師	医学研究科	30時間	37 · 1 // I Jing (Million William)	ZJT / V			
教	2	■ 人間を身体的・精神的・社会的に総力を養う	 た合された存在として	」 「捉え、環境との相互関係の中で、変化	としながら生活す	る存在として理解できる能		
教育目	3		学的根拠に基づいか	こ 看護を展開できる基礎的能力を養う				
標	5		護専門職として自己	門職として自己啓発に励み、生涯にわたり看護を探求し続ける姿勢を持つための基礎的能力を				
	П	養う 項目		内容	教授法	関連科目		
	1	身体の支持と運動	骨格とはどのような	こものか,	講義	基礎分野		
			骨の連結			人間工学		
	0		骨格筋		## * *	市田甘水八服		
	2		体幹の骨格と筋 上肢の骨格と筋		講義	専門基礎分野 解剖生理学 I		
			下肢の骨格と筋			解剖生理学Ⅲ		
				?		*****		
	3		頭頸部の骨格と筋 筋の収縮	<u>ז</u>	講義	解剖生理学IV 看護形態機能学		
	٥		ガガマノ4人利日			有護形態機能子 病態と治療 I		
	4	呼吸	呼吸器系の構造		講義	病態と治療 II 病態と治療 II		
	5	[F] 7/X	呼吸番糸の構造呼吸		講義	病態と治療Ⅲ 病態と治療Ⅲ		
	0		呼吸 外呼吸と内呼吸		PP	病態と治療IV		
			呼吸気量			病態と治療V		
			呼吸器系の病態	8.生理		MISCIDIX V		
	6		ガス交換とガスの		講義	専門分野 I		
			肺の循環と血流		117-4-%	看護学概論		
	呼吸運動の記					H HX 1 INCHIN		
			可须建药。阿斯	•		専門分野Ⅱ		
	7 内臓機能の調節 自律神経による 自律神経の機			簡	講義	成人援助論Ⅲ		
学					117.42	成人援助論IV		
学習			自律神経の構造			成人援助論V		
内容				- &伝達物質と受容体		老年援助論 I		
74	8		内分泌系による調	節	講義	小児援助論 I		
			内分泌とホルモ	\sim				
			ホルモンの化学	構造と作用機序		統合分野		
	9		全身の内分泌腺と	:内分泌細胞	講義			
			視床下部一下	垂体				
	10		甲状腺と副甲		講義			
	11		膵臓		講義			
			副腎					
	12		性腺 その他の	D内分泌	講義			
	13		ホルモン分泌の課	節	講義			
			ホルモンによる調	節の実際				
	14		総復習		講義			
	15	終講試験	筆記試験					
評価方法		筆記試験(10割)	ファトフェ のしよっ		•			
カ伝		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする					
		系統看護学講座 専門基礎分野	人体の構造と機能	[1] 解剖生理学 医学書院				
テキスト								
1	1							

教育	内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい		
20171		人体の構造と機能	1年次 単位			
授業	科目	解剖生理学Ⅲ	1単位	人体で営まれている生命現象		る機能(血液の循環とそ
		海老原 慎也	時間数	調整・体液の調整と尿の生成)	について理解する	
担当	講師	医学研究科	30時間			
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に 力を養う	こ統合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中で	で、変化しながら生活す	る存在として理解できる
育	3		 科学的根拠に基づい	・ た看護を展開できる基礎的能力	を養う	
目標	5	社会の変化の方向性を理解し、養う	看護専門職として自	己啓発に励み、生涯にわたり看護	を探求し続ける姿勢を	持つための基礎的能力
	口	項目		内容	教授法	関連科目
	1	血液	血液の組成と機	給能	講義	基礎分野
	2		赤血球	赤血球		人間工学
			白血球			
			血小板			専門基礎分野
	3		血漿タンパク質	血漿タンパク質と赤血球沈降速度 血液の凝固と繊維素溶解 血液型		解剖生理学 I
			血液の凝固と繊			解剖生理学Ⅱ
						解剖生理学IV
	4	海	循環器系の構成	4.	講義	看護形態機能学
	4	循環		X.	神我	
			心臓の構造			病態と治療I
			心臓の拍出機能	能:心臓の興奮とその伝播		病態と治療Ⅱ
				心電図		病態と治療Ⅲ
	5			心臓の収縮	講義	病態と治療IV
	6		末梢循環系の構	構造:血管の構造	講義	病態と治療V
				肺循環の血管		
				体循環の動脈		専門分野 I
				体循環の静脈		看護学概論
	_		- 一本の任理の言		=# */*	11 设于1941册
	7		血液の循環の訓		講義	ate title () may as
				血液の循環		専門分野Ⅱ
				血圧・血流量の調節		成人援助論Ⅲ
学 習	8			微小循環	講義	成人援助論IV
省内				循環器系の病態生理		成人援助論V
容			リンパとリンパ管	:		老年援助論 I
_	9	体液の調節と尿の生成	体液とホメオスタ	タシス	講義	小児援助論 I
	10		腎臓:腎臓の構		講義	
	10		子宮体の精		nt 4x	
						統合分野
			尿細管の構		-46.34	
	11		傍糸球体装	•	講義	
	12		クリアランス	と糸球体ろ過量	講義	
			腎臓から分	がされる生理活性物質		
			排尿路			
			排尿路の精			
			尿の貯留と	:排尿		
	13		体液の調節		講義	
	10		水の出納		nt 4x	
			脱水			
				Mr.		
			電解質の異			
	14		酸塩基平衡		講義	
	15	終講試験	筆記試験			
平価 方法		筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9	9条によるものとする			
				Me Fa T Americal at any NA	±1.17.4.	
		系統看護学講座 専門基礎分野	予 人体の構造と機	能[1] 解剖生理学 医学		
キスト						
e- 4						

教育内	勺容	専門基礎分野人体の構造と機能	時期 1年次	時期 科目のねらい 1年次				
			単位					
受業和	斗目	解剖生理学IV	1単位			のうち、生命を維持する機能(情報の受容と処 て理解し、人体を保護して種を保存する機能		
		赤木 優也	時間数	時間数 埋・宋養の消化と吸収)について		をして俚を保仔する機能		
担当請	講師	医学研究科	30時間					
教	2	 人間を身体的・精神的・社会的 力を養う	こ統合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中	っで、変化しながら生活す	する存在として理解でき		
育目	3	人々の健康上の課題に応じて、	———— 科学的根拠に基づい	た看護を展開できる基礎的能力	力を養う			
漂	5	社会の変化の方向性を理解し、	看護専門職として自	己啓発に励み、生涯にわたり看	護を探求し続ける姿勢を	持つための基礎的能力		
	□	養う 項目		内容	教授法	関連科目		
	1	情報の受容と処理	神経系の構造と	機能	講義	基礎分野		
	2		脊髄と脳		講義	人間工学		
	3		脊髄神経と脳神	経	講義			
	4		脳の高次機能		講義	専門基礎分野		
	5		中枢神経系の	の障がい	講義	解剖生理学 I		
			運動機能と下行	伝導路		解剖生理学Ⅱ		
	6		感覚機能と上行		講義	解剖生理学Ⅲ		
	0		眼の構造と視覚			看護形態機能学		
						病態と治療 I		
			' ' ' - ' -	耳の構造と聴覚・平衡覚 味覚と嗅覚 なり、(疾病)		病態と治療Ⅱ		
			味見と嗅見 痛み(疼痛)			病態と治療Ⅲ		
			伸み(終伸)					
	7 栄養の消化吸収			- 144 Xda 1 121/4 Ale	544 A/4	病態と治療IV		
			口・咽頭・食道の		講義	病態と治療V		
	8		腹部消化管の棒		講義			
			胃の構造と機			専門分野 I		
	9		小腸の構造	5と機能	講義	看護学概論		
			栄養素の消	肖化と吸収				
			大腸の構造	<u>.</u>		専門分野Ⅱ		
	10		膵臓・肝臓・胆嚢	その構造と機能 しゅうしゅう	講義	成人援助論Ⅲ		
学						成人援助論IV		
習	11	身体機能の防御と適応	皮膚の構造と機能		講義	成人援助論V		
内 容	SALL DAUGES DA EL CYGAG.		生体の防御機構			老年援助論I		
11			非特異的防行			小児援助論I		
	12		特異的防御		講義	1 7 1 1 2 2 5 7 HIII 1		
	12		生体防御の		叶子子ズ	統合分野		
	1.0			判理順征	## ¥*	机百分到		
	13		代謝と運動 体温とその調節		講義			
	1.4	上は が出しお (しの) とな	田林化林里の桂	E >4: 1 . +06: 44:	₹ *			
	14	生殖・発生と老化のしくみ	男性生殖器の様女性生殖器と性		講義			
			受精と胎児の発	生				
			成長と老化					
	15	終講試験	筆記試験					
呼価		筆記試験(10割)				·		
i温 i法		但し、受験資格は履修規定、第	9条によるものとする					
		系統看護学講座 専門基礎分野	予 人体の構造と機	能[1] 解剖生理学 医	学書院			
キスト								

П		I	T .	1 .			
教育	内容	専門基礎分野人体の構造と機能	時期 1年次	科目のねらい			
			1年次単位				
授業	科目	看護形態機能学	1単位	日常生活行動は人体の様々な器質			
		長野 安莉紗	時間数	をもつ人間を丸ごと捉え、人体の構 技術へつなげる	 造と機能を埋解し	、看護学および看護援助	
担当	講師	看護師臨床経験:5年以上	30時間	DAM 2.807 U			
		教育経験:3年以上					
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に紛 力を養う	た合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中で、変	ど化しながら生活す	⁻ る存在として理解できる能	
育	3		学的根拠に基づい		<u></u> う		
目標				養を実践できるとともに、国際化の動向	•	創造するための基礎的能	
	4	力を養う					
	回 1	項目 動ぐ	姿勢	内容	教授法 講義	関連科目 基礎分野	
	2	製八		まちゃんが歩くまで	神秘	左	
	_			・日常生活での基本的動き		八明工丁	
				指令と筋の収縮		専門基礎分野	
			反射•随意運動			解剖生理学 I	
			骨格•骨格筋•	関節	解剖生理学Ⅱ		
						解剖生理学Ⅲ	
	3	話す・聞く	声を出す 聞く	声を出す 聞く 言葉		解剖生理学IV	
						病態と治療 I	
	4	息をする	息を吸う・息を吐	:<	講義	病態と治療Ⅱ	
	5		呼吸運動の神経	圣支配		病態と治療Ⅲ	
			呼吸運動 ·肺	気量		病態と治療IV	
			ガス交換				
			外呼吸と内呼吸	•			
			血液によるガス	の運搬		専門分野 I	
			大汉の世界(人)		2# 3 /2	看護学概論	
	6	恒常性維持のための物質の流通	流通の媒体(血液		講義	看護援助技術 I	
	1		流通路流通の			看護援助技術Ⅱ	
学			神経性調節 ネストレスと恒常性			看護援助技術Ⅲ 看護援助技術Ⅳ	
学 習			クトレクと担 市住	水柱行		看護援助技術V	
内容	8	眠ろ	人はなぜ眠くなる	ろのか	講義	4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
47		眠る	からだのメカニス		11142	専門分野Ⅱ	
			眠り 睡眠の主勧			成人援助論Ⅲ	
						成人援助論IV	
	9	食べる	食欲 食行動		講義	成人援助論V	
	10		咀嚼して味わう	飲み込む(嚥下)		老年援助論 I	
			消化と吸収			小児援助論 I	
						母性援助論 I	
	11	お風呂に入る	垢を落とす 温ま	きる	講義		
			皮膚と付属物が	支膚と粘膜		統合分野	
	12	トイレに行く	排尿		講義		
			排便				
	1.0	フルチ・立す。	専仁フ如かねる		淮 关		
	13	子どもを産む	遺伝子組み換え 性交と受精	•	講義		
	14		赤ちゃん				
			性殖を支えるホ	ルモン			
			出産				
	15	終講試験	筆記試験				
評価 方法		筆記試験その他(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条	にトスものとする				
		□し、文歌真相は版画が足、第 3本	11-4-00002 7-0				
		系統看護学講座 専門基礎分野	人体の構造と機能	能[1] 解剖生理学 医学書院			
テキスト		看護形態機能学 日本看護協会	出版会				
1							

教育区	内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい		
授業和	計目	疾病の成り立ちと回復の促進 病態生理学総論	1年次 単位	──疾病の成り立ちは、臓器によらず共通するものがあり、疾病・治療の原因と人体──の反応およびその分類と特徴を理解する。また、健康障害を日常生活と関連される。		
12.76.1	1 11		1単位			
担当詞	講師	伊倉 義弘 医師臨床経験:10年以上	時間数 15時間	せて捉える基礎的知識を養う		
教育	2	人間を身体的・精神的・社会的は 能力を養う	 統合された存在と	 して捉え、環境との相互関係の中で	、変化しながら生活	舌する存在として理解できる
目標	3		科学的根拠に基づ	いた看護を展開できる基礎的能力を	·養う	
TAK	口	項目		内容	教授法	関連科目
•	1	疾病の成り立ちと病因	病理学とは	v.	講義	基礎分野
			看護と病理学			古田 世 7林 八 駅
			先天異常と遺伝 先天異常とは			専門基礎分野 解剖生理学 I
						解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅲ
			染色体異常	による疾患		71111
		15-34 FB 216-60	FIX =44 F Profes and as			解剖生理学Ⅲ
	2	代謝異常①	代謝障害	a salar II.	講義	解剖生理学IV
	3	代謝異常②	細胞の損傷と	· - · -	講義	看護形態機能学
			脂質・たんぱ	く・糖質代謝異常と疾患		病態と治療 I
						病態と治療Ⅱ
	4	循環障害	循環障害		講義	病態と治療Ⅲ
			うっ血・ショッ	ク・虚血		病態と治療IV
						病態と治療V
	5	腫瘍	腫瘍		講義	
			腫瘍の定義	と分類		専門分野 I
			発生のメカニ	ニズム		看護学概論
	6	炎症とアレルギー	炎症		講義	専門分野Ⅱ
			炎症の原因・	·経過·創傷治癒		成人援助論 I
224			免疫とアレルギ			成人援助論Ⅱ
学習			自己免疫疾病	患、膠原病		成人援助論Ⅲ
内			1			成人援助論IV
容	7	感染症	感染症		講義	成人援助論V
	•		宿主の防御	維構	11142	老年援助論 I
			10 77.45 193 1941	0X 113		小児援助論 I
						母性援助論I
						四江级奶品 1
						統合分野
	8	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験(10割)	•		•	•
方法		但し、受験資格は履修規定、第9	条によるものとする			
		系統看護学講座 専門基礎分野	チ 疾病の成り立ち	と回復の促進[1] 病理学	医学書院	
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野	疾病のなりたち	と回復の促進[2] 病態生理学	医学書院	

教育内	勺容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	時期 科目のねらい 1年次				
授業和	斗目	臨床微生物学	単位	(b) (1 d) .) % 1 (d)			
		岡本 豊	1単位 時間数	微生物が人体に及ぼす影響 て、体系的な知識を深める	『を知り、感染症の原』	対である病原微生物についる。	
担当請	構師	臨床検査技師経験:10年以」			て、体糸的な知識を保める		
教育	3	人々の健康上の課題に応じて、科	 学的根拠に基づい	へた看護を展開できる基礎的能	力を養う		
目標							
	П	項目		内容	教授法	関連科目	
	1	微生物学の基礎	微生物と微生物	7学	講義	基礎分野	
			細菌の性質				
	2		真菌の性質		講義	専門基礎分野	
			原虫の性質			看護形態機能学	
			ウィルスの性質			病態と治療 I	
						病態と治療Ⅱ	
	3	感染とその防御	感染と感染症		講義	病態と治療Ⅲ	
	4		感染に対する生	E体防御機構	講義	病態と治療IV	
	5		感染源·感染経	路からみた感染症	講義	病態と治療V	
			滅菌と消毒			治療論 I	
	6		感染症の検査と	:診断	講義	治療論Ⅱ	
			感染症の治療			治療論Ⅲ	
	7		感染症の現状と	:対策	講義		
						専門分野 I	
	8	主な病原微生物	病原細菌と細菌	i感染症	講義	看護学概論	
	9		グラム陽性取		講義	看護援助技術IV	
	10		グラム陰性		講義	H IX IX 93 IX III I	
	10		グラム陰性好		113-4%	専門分野Ⅱ	
			グラム陰性追			成人援助論I	
			カンピロバク			成人援助論Ⅲ	
学 習			グラム陽性料			成人援助論IV	
習 为			大酸菌と放約	· —		成人援助論V	
容			嫌気性菌	水壓		老年援助論 I	
			オス住困	•		小児援助論I	
			マイコプラズ			母性援助論 I	
						四1生1友以 iii 1	
			リケッチア目			ケヘハ町	
			クラミジア科			統合分野	
				- 44 144 144 144 144 144 144 144 144 144	344 A4	在宅看護概論	
	11		病原真菌と真菌		講義	医療安全	
			病原原虫と原虫	以 恩栄症			
	10		虚医される	5 / 3 マ耐治 亡	3# 3 4		
	12		病原ウイルスと		講義		
	13		DNAウイルス		講義		
	14		RNAウイルス		講義		
			ウイルスと臨	本刊 分類			
	1.5	√n ⇒# ⇒+πΔ	<i>h</i> /r ⇒¬ ⇒ <i>L</i> = r ∧				
	15	終講試験	筆記試験	取1.7 の理由			
: /		終講試験の解説	問題の正誤確認	心とての埋田			
☑価 ĭ法		筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第99	そによるものとする				
		系統看護学講座 専門基礎分野		と同復の促進「47 御生物学	医学書院		
キスト		小心有咬丁牌庄 守门莅暶刀打	MYNN NYN NYN NYN NYN NYN NYN NYN NYN NYN	C四限*/ICEL4」	△丁盲 恢		
イヘト							
1							

		T	<u> </u>	1.		
教育	内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	時期 1年次	科目のねらい		
授業	私日	疾病の成り立らと回復の促進 治療論 I	単位	1		
1文系	19 7 H		1単位	JOHN LIKE COLOR / BITISHING		化学療法および手術療法
担当	誰師	岡 隆紀 医師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	について、その特徴を理解する		
15 =	րդարի	区即咖叭账票.10十以上	20144.[1]			
±4.	2	人間を身体的・精神的・社会的に終 力を養う	充合された存在とし [*]	て捉え、環境との相互関係の中で、変	化しながら生活す	る存在として理解できる能
教育	3		学的根拠に基づい	た看護を展開できる基礎的能力を養う	<u> </u>	
目標			「連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するため			創造するための基礎的能
	4	力を養う		内宏	******	即本がロ
	1	項目 臨床検査	診断法	内容	教授法 講義	関連科目 基礎分野
	2	PHAP I TO EL		問診、身体所見	111 424	2,000
			検体検査・生体	検査		専門基礎分野
						解剖生理学 I
	3	麻酔法	麻酔の知識		講義	解剖生理学Ⅱ
1	4		麻酔とは			解剖生理学Ⅲ
			手術室の管理	-0EF		解剖生理学IV
			手術侵襲と生体			看護形態機能学
			全身麻酔、局所	MVBF		病態と治療 I 病態と治療 II
	5	手術療法	外科療法の目的	と意義	講義	病態と治療Ⅲ
		· HOWE	外科診断法		HI 3 TA	病態と治療IV
			外科手術・処置の	基本		病態と治療V
			術前・術後と術後	:合併症の管理		治療論Ⅱ
			外科的侵襲と生体	本反応		治療論Ⅲ
			炎症と外科的感染	杂症		
			生体の損傷			専門分野I
			腫瘍の外科治療			看護学概論
学習	6	各部の手術療法	上部消化管の手	術	講義	専門分野Ⅱ
内	7		下部消化管手術			成人援助論 I
容	8		肝胆膵手術			成人援助論Ⅱ
						成人援助論Ⅲ
	9		胸部外科		講義	成人援助論IV
	10		心臟血管外科			成人援助論V
	1.1	化学療法	化学療法とは		講義	老年援助論 I 小児援助論 I
	11	11. 于原伝	化学療法の目的	カン特徴	四手线	母性援助論 I
			10.1 /// 10.10	V = 11 100		CATTAN CA HILL I
	12	放射線療法	放射線療法とは		講義	統合分野
	13		放射線療法の目	目的・種類について		
	14		放射線医学			
			CT、単純撮	•		
			エコー、アイ	ソトープ、IVR治療 など		
	15	終講試験	筆記試験			
評価	10	筆記試験(10割)	手心心狀			
方法		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする			
		系統看護学講座 別巻 臨床放射	線医学 医学書			
		系統看護学講座 別巻 臨床検査		<u>у</u> ь		
テキスト		系統看護学講座 別巻 がん看護				
		系統看護学講座 別巻 臨床外科	看護総論 医学書	書院		
		系統看護学講座 別巻 臨床外科	看護各論 医学	書院		
	Ì					

教育区	1/17	疾病の成り立ちと回復の促進				
100 3114 -		八州・グルグエラこ四後・グに連	1年次			
授業和	科目	治療論Ⅱ	単位 1単位	栄養の意義と生体に及ぼす影響。 一理解する	と食事療法の種類	や特徴を疾病と関連づけ
担当記	禁師	岡本 泰幸 管理栄養士経験:10年以上	時間数 15時間	リハビリテーションとノーマライゼー	ーションを理解する	
14 = 1	바마바	官 连术後工程課:10年以上	1.0144[目]			
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に 能力を養う	統合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中で、	変化しながら生活す	トる存在として理解できる
育目	3			、た看護を展開できる基礎的能力を養		
標	4	保健・医療・福祉チームの一員とし 力を養う	ンて連携・協働し看	護を実践できるとともに、国際化の動「	句を踏まえて看護を	創造するための基礎的情
	口	項目		内容	教授法	関連科目
	1	人間栄養学と看護		ての取り組みと看護の役割	講義	基礎分野
				近・判定の目的とその4つの		
			手技について			専門基礎分野
				重類とはたらきについて		解剖生理学I
				②脂質 ③タンパク質		解剖生理学Ⅱ
			④ビタミン ⑤			解剖生理学Ⅲ
		エネルギー代謝	生命活動を営む	ための源、エネルギーについて		解剖生理学IV
				18 @ H. I 1 22		看護形態機能学
				ルギー②体内のエネルギー		病態と治療I
			(3)エネルギー	代謝 ④エネルギー消費		病態と治療Ⅱ
		W 44 1 - 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	W 24) - '	No. 1 - Indian A series and No.	-11. 34.	病態と治療Ⅲ
	2	栄養ケア・マネジメント		ジメントの概要や評価に関する	講義	病態と治療IV
			基礎的事項			病態と治療V
		ライフステージと栄養		さいて各ライフステージでの		治療論I
			栄養の特徴と栄	養ケア・マネジメントの要点	治療論Ⅲ	
	3	栄養食事療法①	呼吸器~腎疾患		講義	専門分野 I
						看護学概論
学	4	栄養食事療法②	代謝疾患~高齢者		講義	
学 習						専門分野Ⅱ
内	5	栄養状態の評価・判定	栄養計算		講義	成人援助論 I
容						成人援助論Ⅱ
	6	リハビリテーション概論①	リハビリテーショ	ンの概念	講義	成人援助論Ⅲ
	7	リハビリテーション概論②	リハビリテーショ	ンの定義		成人援助論IV
			リハビリテーショ	ンの対象		成人援助論V
			リハビリテーショ	ンとノーマライゼーションを		老年援助論 I
				必要とする人々		小児援助論 I
			障害者の動向			母性援助論 I
			ノーマライゼー			
			ICFの基本的	な考え方		統合分野
			ADL、IADLな	ど		
			経過別リハビリラ	テーション		
				朝・慢性期における		
			リハビリテーシ	ョンの特徴		
	8	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験 (10割)			<u> </u>	
方法		但し、受験資格は履修規定、第99	条によるものとする			
		系統看護学講座 別巻 リハビリラ	テーション看誰 原	· · · · ·		
		系統看護学講座 専門基礎分野				
- 2 - 1				= =		
テキスト		光紛有護学譜學 別本 学者中華				
r+X\		系統看護学講座 別巻 栄養食事	中原伝 区于音师	L		

	1 /5: 1/10			
疾病の成り立ちと回復の促進 治療論Ⅲ	1年次 単位	\dashv		
	1単位	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
西川 直樹 管理薬剤師経験:10年以上	時間数 30時間	八体に及ほり影響やよい白原丸]朱について垤胜ヶ	ବ
 人間を身体的・精神的・社会的に統力を養う	<u> </u> :合された存在とし	 こて捉え、環境との相互関係の中で、	変化しながら生活す	る存在として理解でき
人々の健康上の課題に応じて、科学				
保健・医療・福祉チームの一員として 力を養う	こ連携・協働し看	護を実践できるとともに、国際化の動		
項目	*****	内容	教授法	関連科目
薬理学を学ぶにあたって	薬物による病気		講義	基礎分野
薬理学の基礎知識	薬理学とは何か			
		」態学・相互作用		専門基礎分野
	薬効因子•有益	性と危険性・薬と法律		解剖生理学I
循環器系に作用する薬物	降圧薬·狭心症	治療薬・心不全治療薬	講義	解剖生理学Ⅱ
	利尿薬·脂質異	常症治療薬		解剖生理学Ⅲ
		「用系に作用する薬物		解剖生理学IV
	血液に作用する			看護形態機能学
元明四 冰川,四 小动见了)>	呼吸器系に作用		*# 关	
呼吸器・消化器・生殖器系に	講義	病態と治療I		
作用する楽物	消化器系に作用			病態と治療Ⅱ
	生殖器·泌尿器	系に作用する薬物		病態と治療Ⅲ
物質代謝に作用する薬物	ホルモンとホルー	モン拮抗薬	講義	病態と治療IV
	治療薬としての	ビタミン		病態と治療V
皮膚科用薬・眼科用薬	皮膚に使用する		講義	治療論 I
X月11711末 BAT1711末	服科用薬	7米1/2	D(中 4)X;	治療論Ⅱ
上一, 3 平 大水 古本		F	** **	行羽 珊 🎞
抗アレルギー薬・抗炎症薬		抗アレルギー薬	講義	
	炎症と抗炎症薬	ર્ક		専門分野 I
	関節リウマチ治	療薬・痛風・高尿酸血症治療薬		看護学概論
末梢での神経活動に作用する薬物	自律神経系作用		講義	看護援助技術IV
	交感神経作用薬			看護援助技術V
	副交感神経作用			
	筋弛緩薬・局所			専門分野Ⅱ
中枢神経系に作用する薬物				
中枢伸栓糸に作用する架物		· 版文· 抗不安薬	講義	成人援助論I
	0 - 111 - 111 - 111 - 111	うつ薬・気分安定薬		成人援助論Ⅱ
	パーキンソン症々	候群治療薬・抗てんかん薬		成人援助論Ⅲ
	麻薬性鎮痛薬・	片頭痛治療薬		成人援助論IV
抗感染症薬	感染症薬に関す	する基礎事項	講義	成人援助論V
0.000		i薬・抗ウイルス薬・抗寄生虫薬		老年援助論 I
	感染症の治療に			小児援助論I
4-28) 研		. , -, ,	## * *;	
抗がん薬	がん治療に関す	る基礎事項	講義	母性援助論I
	抗がん薬各論			精神援助論I
免疫治療薬	免疫系の基礎を	:扣識	講義	精神援助論Ⅱ
	免疫抑制剤			
	免疫增強薬・予	·防接種		統合分野
救急の際に使用される薬物	救急に用いられ	る薬物	講義	在宅看護概論
	急性中毒に対す	-21411	7.7	在宅援助論 I
輸液製剤·輸血剤	輸液製剤			在宅援助論Ⅱ
#刑 们又 录文月リ [™] #刑 月リ	輸血剤			
\dis _1 12-				医療安全
漢方薬	漢方薬各論			
消毒薬	消毒薬とは・種類	顔と作用・適用		
終講試験	筆記試験			
筆記試験(10割)	+ HOR 49/			
但し、受験資格は履修規定、第9条1	によるものとする			
系統看護学講座 専門基礎分野	疾病の成りて	プもと回復の促進「3] 薬理学 医	学書院	
			7 8 90	
小心但 唆于碑座 別仓 端床多	水生于 区子	크면		
但系	し、受験資格は履修規定、第9条 統看護学講座 専門基礎分野	し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする 統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立	し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする 統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[3] 薬理学 医	し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする 統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[3] 薬理学 医学書院

教育	内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい				
		疾病の成り立ちと回復の促進	1年次					
授業	科目	病態と治療 I	単位 1単位					
		中村 美保	時間数	―――――――――――――――――――――――――――――――――――――				
Lm Mz	-#- 4T	医師臨床経験:10年以上	. 4 104 294	循環器疾患の病態生理、検査	、治療法、丁俊を理解	解する アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・アイス・		
担当	講師	湯口 賢	30時間					
		医師臨床経験:10年以上						
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に対力を養う	統合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中で	で、変化しながら生活で	する存在として理解できる能		
教育	3		学的担 棚 に甘べい	た手誰な展問できる其跡的能力	た差ら			
目標	ა)根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を養う 5携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための基礎的能				
N.	4	力を養う	(理携・励働し有記	要を美践できるとともに、国际化り	期 円を始まん (有 護	を創垣するための基礎的能		
	口	項目		内容	教授法	関連科目		
Ì	1	呼吸器系の病態と治療	呼吸器の解剖と	生理 I	講義	基礎分野		
Ì	2		呼吸器の解剖と	化 珊π	講義	専門基礎分野		
	2		一十つ父 有合 シノ月半 ロリこ	生/生Ⅱ	四手线	解剖生理学 I		
Ì	3		呼吸器の検査		講義	解剖生理学Ⅱ		
						解剖生理学Ⅲ		
	4		呼吸器の治療		講義	解剖生理学IV		
			気道確保			看護形態機能学		
			在宅酸素			病態と治療Ⅱ		
	5		肺		講義	病態と治療Ⅲ 病態と治療Ⅳ		
	Э		感染症		神 我	病態と治療V		
Ì						治療論I		
	6		びまん性肺疾患	、喘息、COPD	講義	治療論Ⅱ		
						治療論Ⅲ		
	7		肺がん、SAS、結	核など	講義			
						専門分野 I		
	1	循環器系の病態と治療	心臓の解剖と生	THE	# 学	看護学概論		
学 習	1	個界番末の物態と何葉	心順のフ州中司と生	垤	講義	専門分野Ⅱ		
内	2		虚血		講義	成人援助論 I		
容						成人援助論Ⅱ		
	3		高血圧		講義	成人援助論Ⅲ		
						成人援助論IV		
	4		弁膜症と心筋症		講義	成人援助論V		
	5		不整脈		講義	老年援助論 I 小児援助論 I		
			1. 垂加		IPF-持戈	母性援助論 I		
	6		心不全		講義			
						統合分野		
	7		その他		講義			
		∆4 =## = N mA	44					
₹# /m*	15	終講試験 終講試験(10割)	筆記試験					
評価 方法		松神 (10部) 但し、受験資格は履修規定、第99	≩ によるものとする					
		ーン、ヘッハヌ THIO 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	×1-×20*/C13					
		系統別看護学講座 専門分野Ⅱ						
テキスト		系統別看護学講座 専門分野Ⅱ			per NA per mil			
		系統別看護学講座 専門基礎分野						
		系統別看護学講座 専門基礎分野	リ 八14の博定と	戏比[1] 胜司生堪子 医子香剂	兀			

				1				
教育	内容	専門基礎分野疾病の成り立ちと回復の促進	時期 1年次	科目のねらい				
授業	科目	病態と治療Ⅱ	単位 1単位	消化器疾患の病態生理、検査、治療	療法、予後を理解	する		
担当	講師	冨永 洋一 医師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	内分泌系、代謝系、歯・口腔疾患の				
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に続 力を養う	合された存在として	」 「捉え、環境との相互関係の中で、変々	化しながら生活す	る存在として理解できる能		
育目	3		学的根拠に基づいた	た看護を展開できる基礎的能力を養う	ı			
標	4	保健・医療・福祉チームの一員として 力を養う	で連携・協働し看護	を実践できるとともに、国際化の動向	を踏まえて看護を	創造するための基礎的能		
	回	項目	I day Mr. H. Arte (2)	内容	教授法	関連科目		
	1	消化器系の病態と治療	上部消化管①		講義	基礎分野		
	2		上部消化管②			専門基礎分野 解剖生理学 I		
	3		下部消化管①			解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅲ		
	4		下部消化管②			解剖生理学IV		
	5		肝炎			看護形態機能学 病態と治療 I		
	6		肝硬変と肝がん			病態と治療Ⅲ 病態と治療Ⅳ		
	7		胆膵疾患			病態と治療 V 治療論 I		
	1	代謝疾患の病態と治療	糖尿病		講義	治療論Ⅲ		
			診断〜治療まで			専門分野 I		
学	2		糖尿病 急性、慢性合併	症		看護学概論		
学習内容	3		脂質異常症、肥満	1、高尿酸血症		専門分野 II 成人援助論 I		
	1	内分泌疾患の病態と治療	視床下部、下垂体	成人援助論Ⅱ 成人援助論Ⅲ				
			甲状腺疾患			成人援助論IV 成人援助論V		
	2		甲状腺腫瘍 副甲状腺、副腎他	1		老年援助論 I 小児援助論 I		
	1	口腔疾患の病態と治療	歯・口腔(2)		講義	母性援助論 I		
	2		歯・口腔(2)			統合分野		
			/_ /					
3-Ti Ame	15	終講試験	筆記試験					
評価 方法		筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする					
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	の成り立ちと回復の 成人看護学[5] 消 成人看護学[6] 内	促進2 病態生理学 医学書院 化器 医学書院 分泌・代謝 医学書院				
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[17] 歯・口腔 医学書院							

教育内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい		
	疾病の成り立ちと回復の促進	1年次 単位			
授業科目	病態と治療Ⅲ	1単位	運動器疾患の病態生理、検査	査、治療、予後を理解す	-5
	松下達生	時間数	― 脳神経疾患の病態生理、検査	査、治療、予後を理解す	⁻ る
担当講師	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	30時間	感覚器(眼・耳鼻咽喉)疾患の)病態生埋、検査、治療	で、一分で理解する
1		(H) (M)			
	人間を身体的・精神的・社会的に	_ こ統合された存在とし	 レて捉え、環境との相互関係の中	で、変化しながら生活す	る存在として理解できる能
教	4 力を養う				
目 3	3 人々の健康上の課題に応じて、	科学的根拠に基づい	へた看護を展開できる基礎的能力	」を養う	
標	4	:して連携・協働し看	護を実践できるとともに、国際化の	⊃動向を踏まえて看護を	創造するための基礎的能
	* 力を養う 回 項目		内容	教授法	関連科目
	1 運動器系の病態と治療	運動器疾患の症		講義	基礎分野
5	5	骨折と脱臼		J. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	
4	4	神経と筋肉の機	能		専門基礎分野
,		脊椎疾患			解剖生理学 I
					解剖生理学Ⅱ
,]	1 脳及び神経内科の病態と治療	脳血管障害の症	定状・検査・治療	講義	解剖生理学Ⅲ
5	5	頭部外傷・脳腫	瘍症状・検査・治療		解剖生理学IV
1	12	他の脳外科疾患	患症状・検査・治療		看護形態機能学
,		神経内科疾患症	定状・検査・治療		病態と治療 I
, [病態と治療Ⅱ
1	1 眼科疾患の病態と治療	眼科疾患の症状	、治療、検査	講義	病態と治療IV
2	2	水晶体疾患の症	定状・検査・治療・処置		病態と治療V
		緑内障			治療論 I
,		眼底疾患の症状	眼底疾患の症状・検査・治療・処置		治療論Ⅱ
		眼瞼・結膜・角腫	莫の疾患の症状・治療		治療論Ⅲ
,					
	1 耳鼻咽喉疾患の病態と治療		の症状、治療、検査	講義	専門分野 I
_ 2	2	外耳•中耳•内〕	非疾患		看護学概論
يمير		副鼻腔炎			
学 習		アレルギー疾患	1		専門分野Ⅱ
内		扁桃腺炎			成人援助論I
容					成人援助論Ⅱ 成人援助論Ⅲ
					成人援助論IV
					成人援助論V
					老年援助論 I
,					小児援助論 I
,					母性援助論 I
,					1-1-17/2/JAHIN T
, [統合分野
,					
,					
,					
,					
,					
,					
,					
,					
,					
,					
	- 04 3# 3 N N N N N N N N N N N N N N N N N	fore and a large			
	終講試験	筆記試験			
評価 方法	章記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9	多によるものレナス			
77 124	但し、		[1] 解剖生理学 医学書院		
			回復の促進[2] 病態生理学 B	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ		脳・神経 医学書院	_ · HN2	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学[10]	運動器 医学書院		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		連動器 医学書院 眼 医学書院		

教育	内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい		
授業	利日	疾病の成り立ちと回復の促進 症能と治療W	1年次 単位			
1文美	1:1 H	病態と治療Ⅳ	1単位	腎・泌尿器疾患の病態生理、樹 女性生殖器疾患の病態生理、	検査、治療、予後を理	解する
担当	講師	辻本 吉広 医師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	感覚器(皮膚)疾患の病態生理	!、検査、治療、予後を	理解する
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に 力を養う	統合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中で	、変化しながら生活す	る存在として理解できる
育目	3	人々の健康上の課題に応じて、科				
標	4	保健・医療・福祉チームの一員とし 力を養う	て連携・協働し看記	雙を実践できるとともに、国際化の!	動向を踏まえて看護を	創造するための基礎的
	口	項目	Property - Labort V 199	内容	教授法	関連科目
	1	腎疾患の病態と治療	腎臓の構造と機 症状とその病態		講義	基礎分野
	2		腎臓泌尿器の検	き査と治療		専門基礎分野 解剖生理学 I 解剖生理学 II
	3		腎不全と急性腎	不全、慢性腎不全		解剖生理学Ⅲ 解剖生理学Ⅳ 解剖生理学Ⅳ
	4		ネフローゼ症候	胜		看護形態機能学
	1		糸球体腎炎	н		病態と治療 I 病態と治療 II
	5		全身性疾患によ 腎血管性病変	る腎障害		病態と治療Ⅲ 病態と治療Ⅴ 治療論 I
	1	女性生殖器疾患の病態と治療	女性生殖器の疫	患	講義	治療論Ⅱ 治療論Ⅲ
346	2		不妊症			専門分野 I
	1		子宮、卵巣の疾	患	講義	看護学概論
学習内容	1		乳房の疾患		講義	専門分野Ⅱ 成人援助論 I
容	1	泌尿器疾患の病態と治療	尿路と泌尿器科		講義	成人援助論Ⅱ 成人援助論Ⅲ
	2		泌尿器科悪性疫	意		成人援助論IV
			腎移植 性病			成人援助論 V 老年援助論 I
	1	皮膚疾患の病態と治療	皮膚の構造と機	能	講義	小児援助論 I 母性援助論 I
			発疹学(I)			統合分野
	2		発疹学(Ⅱ)検査	至と治療・処置		
	3		皮膚疾患の理解	7		
	15	終講試験	筆記試験			
評価 方法		筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9%	条によるものとする			
		系統看護学講座 専門基礎分野	人体の構造と機能			
		系統看護学講座 専門基礎分野		,	学書院	
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学[8]	腎・泌尿器 医学書院		
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ				
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学[12]	皮膚 医学書院		
	i					

教育	内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい				
		疾病の成り立ちと回復の促進	1年次 単位					
授業	科目	病態と治療V	1単位	血液・造血器疾患の病態生理、検査	治療 予後を刊	田解 ナス		
		岡本 伸彦	時間数	自己免疫疾患および感染症の病態生理、検査、治療、予後を理解する				
担当	講師	医師臨床経験:10年以上	30時間					
	1	1 88 2 5.75 to vertical to 5 5 5 5	+ A & 1 - 4 - 4 1 1 -		.1 .1. 1° > 11. \rd L	フナナロープログラン		
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に参力を養う	的に統合された存在として捉え、環境との相互関係の中で、変化しながら生活する存在として理解できる能 、科学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を養う					
育目	3	人々の健康上の課題に応じて、科						
標	4		て連携・協働し看護	を実践できるとともに、国際化の動向を	:踏まえて看護を	創造するための基礎的能		
	回	力を養う 項目	1		教授法	関連科目		
	1	血液造血器疾患の病態と治療	検査・診断と症候	**	講義	基礎分野		
	5		疾患と治療の理解		111 112			
	6		赤血球の異常			専門基礎分野		
			白血球の異常			解剖生理学 I		
			造血器腫瘍			解剖生理学Ⅱ		
			出血性疾患			解剖生理学Ⅲ		
			74-120			解剖生理学IV		
	1	感染症と治療	感染①総論		講義	看護形態機能学		
	1		- Pro- Man-Hill		211.30	病態と治療I		
	2		感染②治療、予防	方		病態と治療Ⅱ		
			DA CHANTY	•		病態と治療Ⅲ		
	3		感染③耐性菌、原	以沙 対策		病態と治療IV		
			松木 ② 圆1 工匠 (%	X X X) X		治療論I		
	4		感染④振興/再興	且成选完		治療論Ⅱ		
	1		2000年115			治療論Ⅲ		
	1 アレルギー性疾患と治療		アレルギー総論		講義	1 El /// Hill III		
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			専門分野 I		
	2		アレルギー各論			看護学概論		
学 習	3	膠原病と治療	膠原病総論			専門分野Ⅱ		
内						成人援助論I		
容	4		膠原病各論			成人援助論Ⅱ		
						成人援助論Ⅲ		
						成人援助論IV		
						成人援助論V		
						老年援助論 I		
						小児援助論 I		
						母性援助論 I		
						統合分野		
	15	終講試験	筆記試験					
評価		筆記試験(10割)	1		+			
方法		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする					
		7 (4-T-2# W-2# plan	1 14 0 140 140 100 100 100 100 100 100 1					
		系統看護学講座 専門基礎分野			±			
テキスト		糸統看護字講座 専門各礎分野系統看護学講座 専門分野Ⅱ		復の促進[2] 病態生理学 医学書際 血液・造血器 医学書院	TL .			
		系統看護子講座 専門分野 II 系統看護学講座 専門分野 II			E学書院			
		小心但咬丁畔庄 守门刀對Ⅱ	ル人八一日 哎 丁[11]	/ v / v 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2.丁目5亿			

	生命を尊ぶ心 健やかに生きる 老いてこそ人生 穏やかに死ぬこ 医学の歴史 臨床疫学とEBM 保健・医療・介書	E こと 終末期を考える	-マンケアを実践する 動向を踏まえて看護 教授法 講義 講義	るための豊かな人間性を養え を創造するための基礎的能 関連科目 基礎分野 専門基礎分野 公衆衛生学 社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規 I
医師臨床経験:10年以上 生命の尊厳と人権を守り、人々の 保健・医療・福祉チームの一員と 力を養う 項目 生きることと死ぬこと 医学と医療 保健・医療・介護	15時間 多様な価値観を導して連携・協働し看 生命を導ぶ心健やかに生きる。 老いてこそ人生穏やかに死ぬこ 医学の歴史臨床疫学とEBN 保健・医療・介記・現社会保障制度 公衆衛生と保領	重し、倫理的判断に基づいたヒュー護を実践できるとともに、国際化の関内容 内容 とと、終末期を考える	-マンケアを実践する 動向を踏まえて看護 教授法 講義 講義	るための豊かな人間性を養 を創造するための基礎的能 関連科目 基礎分野 専門基礎分野 公衆衛生学 社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規 I
4 保健・医療・福祉チームの一員と 力を養う 回 項目 1 生きることと死ぬこと 2 医学と医療 3 保健・医療・介護	生命を尊ぶ心 健やかに生きる 老いてこそ人生 穏やかに死ぬこ 医学の歴史 臨床疫学とEBN 保健・医療・介記 社会保障制度 公衆衛生と保候	護を実践できるとともに、国際化の 内容 う こと 終末期を考える	動向を踏まえて看護 教授法 講義 講義	を創造するための基礎的能 関連科目 基礎分野 専門基礎分野 公衆衛生学 社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規 I
* 力を養う コ 項目 1 生きることと死ぬこと 2 医学と医療 3 保健・医療・介護	生命を尊ぶ心 健やかに生きる 老いてこそ人生 穏やかに死ぬこ 医学の歴史 臨床疫学とEBM 保健・医療・介記 社会保障制度 公衆衛生と保候	内容 5 5 こと 終末期を考える M	講義講義	関連科目 基礎分野 専門基礎分野 公衆衛生学 社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規 I
 生きることと死ぬこと 医学と医療 保健・医療・介護 	健やかに生きる 老いてこそ人生 穏やかに死ぬこ 医学の歴史 臨床疫学とEBM 保健・医療・介記 社会保障制度 公衆衛生と保候	5 E こと 終末期を考える M	講義	基礎分野 専門基礎分野 公衆衛生学 社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規 I
2 医学と医療3 保健・医療・介護	健やかに生きる 老いてこそ人生 穏やかに死ぬこ 医学の歴史 臨床疫学とEBM 保健・医療・介記 社会保障制度 公衆衛生と保候	: こと 終末期を考える M	講義	専門基礎分野 公衆衛生学 社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規 I
3 保健·医療·介護	臨床疫学とEBM 保健・医療・介語 社会保障制度 公衆衛生と保候			社会福祉Ⅱ 関係法規 I
	理 社会保障制度 公衆衛生と保険	獲を取り巻く社会環境の変化	淮 主	関係法規Ⅱ
	救急医療・集中がん治療 周産期医療 放射線診断 チーム医療 リハビリテーショ 介護	ンステム	講義	専門分野 I 看護学概論 専門分野 I 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 母性看護学概論 統合分野 在宅看護概論
5 医療と社会 6	医の倫理 医療安全 医薬品 最先端医療 医療情報		講義	看護管理·看護倫理
7 医療経済学と医療政策	経済学を用いて転換を迫られる	医療を読み解く	講義	
8 終講試験	筝記計略			
* 終蔣為敏* 筆記試験(10割)	丰心心映			
	条によるものとする			
系統看護学講座 専門基礎分野	健康支援と社会	全保障制度[1] 医療概論 医学	書院	
3	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする	筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする	筆記試験 (10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする

4 □ 1		2年次 単位 1単位 1単位 時間数 30時間 30時間 大震薬衛生の現状を知り、今日的係 また、急速な高齢化社会に伴う医 済発展に伴う環境問題(温暖化・ めの対策、地域保健など幅広く学 学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を発 て連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動	R健対策の理解に対策、保健、福祉の 療、保健、福祉の 汚染etc)と健康への ぶ	努める 問題、新興国の急速な経
3 4 回 1	冨田 久子 保健師経験:10年以上 教育経験7年 人々の健康上の課題に応じて、科学 保健・医療・福祉チームの一員として 能力を養う	1単位 公衆衛生の現状を知り、今日的保 時間数 30時間 また、急速な高齢化社会に伴う医 済発展に伴う環境問題(温暖化・ めの対策、地域保健など幅広く学 学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を発 て連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動 内容	療、保健、福祉の 汚染etc)と健康への ぶ 養う	問題、新興国の急速な経
3 4 1	保健師経験:10年以上 教育経験7年 人々の健康上の課題に応じて、科学 保健・医療・福祉チームの一員として 能力を養う 項目	済発展に伴う環境問題(温暖化・ めの対策、地域保健など幅広く学 学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を記 て連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動	汚染etc)と健康へ <i>0</i> :ぶ <u>*</u> ※ う	
3 4 1	教育経験7年 人々の健康上の課題に応じて、科学 保健・医療・福祉チームの一員として 能力を養う 項目	30時間 めの対策、地域保健など幅広く学 学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を て連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動 内容	きら	777 H 40 G U REAR PER PER
4 □ 1	保健・医療・福祉チームの一員とし 能力を養う 項目	て連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動 内容		
1	能力を養う項目	内容	向を踏まえて看護	
1		* * *		を創造するための基礎的
	公衆衛生学序論		教授法	関連科目
2		公衆衛生とはなにか	講義	基礎分野
2		世界の公衆衛生の歴史		± m + * * / m
2		日本における公衆衛生 はじまりと発展		専門基礎分野
2	八面体化为江利山存	新たな公衆衛生の理念	-# ¥	公衆衛生学
	公衆衛生の活動対象	自分の生活と健康に関係する社会集団 看護職の公的責任と活動対象	講義	社会福祉 I 社会福祉 II
		看護城の公的員任と店動列家 社会集団をとらえる視座		
		社会集団のなかにある特定集団		関係法規 I 関係法規 II
3	公衆衛生のしくみ	政策展開	講義	労休伝苑Ⅱ
J	ム水闸王のU\05	国と地方自治体の役割	叶 技	専門分野 I
		専門職のはたらき		看護学概論
		多職種との協働		有咬丁似咖
		住民との協働		専門分野 Ⅱ
4	集団の健康をとらえるための手法	集団としての人々の健康をまもる	講義	成人看護学概論
1	疫学•保健統計	公衆衛生の場での疫学	mr4x	老年看護学概論
) NICHOLI	集団をとらえる		小児看護学概論
		原因を分析する		母性看護学概論
		対策を計画・実施する		14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		エビデンスを使う、つくる		統合分野
5	環境と健康	環境と健康	講義	在宅看護概論
	SICILE IVE	地球規模の環境と健康	11742	看護管理•看護備
		身の回りの環境と健康		
		日本の環境行政		
6	感染症とその予防対策	感染症とその予防の基礎知識	講義	
		日本の感染症予防対策		
		院内感染とその予防		
		公衆衛生上の重要な感染症とその対策		
		経済格差と健康格差・健康格差の解消のために	講義	
7	国際保健	国際保健の担い手・共通目標		
		国際保健の共通目標		
		国際保健と日本	講義	
8	地域における公衆衛生の実践	公衆衛生看護とは		
		母子保健	講義	
9		成人保健		
		高齢者保健	講義	
10			244-24	
11	24 法 1.70 /中		講 義	
12	子仪と休健	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		
			维羊	
13	離場と健康		押我	
10	1997/初二版形	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
			蓋恙	
14	健康危機管理・災害保健		HIT 4X	
	NOW THE WAY			
15	終講試験			
10	筆記試験(10割)		<u> </u>	
15	但し、受験資格は履修規定、第10%			
19	型し、又歌貝 俗 よ 腹 珍現. 上、男 U彡	たによるものとする		
10	にし、又吹貝俗は腹形現た、第105	条によるものとする		
8 8 9 9 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	3 0 1 2 3	3 地域における公衆衛生の実践 0 1 学校と保健 3 職場と健康 4 健康危機管理・災害保健 5 終講試験 筆記試験(10割)	院内感染とその予防 公衆衛生上の重要な感染症とその対策 経済格差と健康格差・健康格差の解消のために 国際保健 国際保健の担い手・共通目標 国際保健の共通目標 国際保健と日本 公衆衛生看護とは 母子保健 成人保健 高齢者保健 精神保健 歯科保健 電がい者保健・難病保健 学校と保健 学校における健康とは 学校保健の展開 特別な支援を必要とする子どもたち 職場における健康 職場における健康をまもるしくみ 産業保健活動の展開 産業保健における今後の課題と新たな動き 健康危機管理・災害保健 終講試験 筆記試験 筆記試験 筆記試験	院内感染とその予防 公衆衛生上の重要な感染症とその対策 経済格差と健康格差・健康格差の解消のために 国際保健の担い手・共通目標 国際保健の共通目標 国際保健の共通目標 国際保健の共通目標 国際保健と日本 公衆衛生看護とは 母子保健 成人保健 高齢者保健 精神保健 歯科保健 歯科保健 歯科保健 歯科保健 歯科保健 歯科保健 歯科保健 歯科

教育内	内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい		
		健康支援と社会保障制度	2年次 単位	── 社会福祉の意義や歴史、制度につい	っての基礎を理解	解する。
授業科	計目	社会福祉 I	1単位	現代の貧困問題や人権問題と自分が	たちが「生きつづ	ける」現代社会の動向を
		馬込 武志	時間数幅広く考える視点を身につい		- J., L.C	() 0] Jul (1114) 341 (12
担当請	講師	教育経験:10年以上	15時間			
教育	3	人々の健康上の課題に応じて、科	 学的根拠に基づい	- L た看護を展開できる基礎的能力を養う		
目標	4	保健・医療・福祉チームの一員とし 力を養う	て連携・協働し看護	夢を実践できるとともに、国際化の動向を	を踏まえて看護を	創造するための基礎的
	П	項目		内容	教授法	関連科目
	1	社会福祉の理念		概要及び現代の課題	講義	基礎分野
			社会福祉の意味社会福祉の理念			専門基礎分野
			社会福祉の構造			公衆衛生学
	2	社会福祉の歴史	サ 会 垣 加 の 計 色	についての考察(1) 貧困問題	講義	公衆衛生学 社会福祉Ⅱ
	4	11云福和 20 至文	任去無性の 対 家	に が・(の名祭(1) 貝M미超	- 四	関係法規I
	3	日本における社会福祉の発達	社会福祉の対象	についての考察(2) 歴史から考える	講義	関係法規Ⅱ
	4	社会福祉の概要と動向	社会福祉の法と	制度	講義	専門分野 I
	ī	田田本・四男父(翌川		介護保険制度、所得保障	ਸਾਰ ਕ	看護学概論
	5	社会福祉の分野とサービス	社会福祉の対象	についての考察(3)	講義	専門分野Ⅱ
	5	「日本田田の万男とり こハ		福祉の歩みから考える	14432	成人看護学概論
						老年看護学概論
	6			についての考察(4)	講義	小児看護学概論
			子どもと家族	たへの支援から考える		母性看護学概論
	7	社会福祉実践の共通基盤	社会福祉におけ	る相談援助	講義	統合分野
学			ソーシャルワーク			在宅看護概論
学習中			現代社会と地域	問題、社会福祉		看護管理•看護倫理
内容			公的扶助 ノーマライゼーシ	/¬`/		
			少数者と人権	37		
			地域福祉			
			共生社会			
	8	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験(10割)				
方法		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする			
		系統看護学講座 専門基礎分野	健康支援と社会の	呆障制度[3] 社会保障·社会福祉	医学書院	
テキスト						

教育P	勺容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	時期 3年次	科目のねらい			
授業和	21 🖂	サウラル II 単位					
(文表作	半日	任芸備性Ⅱ ■	1単位	社会福祉全体の概説を学ぶ一昨今の社会福祉のニーズをはじめ、:	地域福祉の道 ス	、や介護保険 障害者総	
担当詞	講師	山本 永人 教育経験:10年以上 時間数 支援法等知っておくべき社会福祉					
教育	4	 保健・医療・福祉チームの一員として 力を養う	 江連携・協働し看記	 雙を実践できるとともに、国際化の動向を	:踏まえて看護を	創造するための基礎的	
目標		//CK/					
	П	項目		内容	教授法	関連科目	
	1	我が国の社会保障制度と社会福祉			講義	基礎分野	
		25 12F - H A F H L ()	社会福祉サービ	スとの比較	-44-34-	to produce with () may	
	2	我が国の社会福祉史(1)	明治期の福祉	0.77.1111	講義	専門基礎分野	
			福祉の先達たち			公衆衛生学	
	_	Sh)200 - H A 1211 (L/C)	福祉6法の成立に		-44-34-	公衆衛生学	
	3	我が国の社会福祉史(2)	生存権保障と福祉サービスの胎動		講義	社会福祉 I	
			福祉サービスの			関係法規I	
				造改革後の社会福祉サービスの展開	-15.36	関係法規Ⅱ	
	4	現代社会の変化と社会保障 少子高齢化社会の統計的な変化			講義		
			現代的貧困とジ			専門分野I	
	5	社会保険制度①医療保険(1)	医療保険が成立	してきた経緯	講義	看護学概論	
			医療保険の保険	者•被保険者			
			職域保険と地域	保険		専門分野Ⅱ	
	6	社会保険制度②医療保険(2)	保険制度のしくみ	みと保険給付	講義	成人看護学概論	
			後期高齢者医療	制度のしくみ		老年看護学概論	
			医療保険制度の	課題と今後		小児看護学概論	
	7	社会保険制度②年金保険	年金制度が成立	した経過	講義	母性看護学概論	
			賦課制度による	手金保険のしくみ			
			年金制度の将来	的な展望		統合分野	
224	8	社会保険制度③労働保険	雇用保険制度に	ついて	講義	在宅看護概論	
学 習			労働者災害補償	保険について		看護管理•看護備	
内	9	社会保険制度④介護保険(1)	介護保険ができ	るまでの背景	講義		
容			介護ニーズの増	大と医療モデルでの対応の限界			
			老人保健制度か	ら介護保険制度へ			
	10	社会保険制度④介護保険(2)		保険者、被保険者	講義		
				給付と地域支援事業			
			介護保険の今日				
	11	公的扶助制度	公的扶助の体系		講義		
	11	四百万人多川西文	生活保護制度の		1117-4-22		
			生活保護制度の				
			社会手当	大旭ノロビハ			
	10	社会福祉サービス①	ICFとノーマライ	げーシーン	講義		
	14	障害者サービス(1)	障害者の範囲と		叶子文		
		厚音有リーログ(1)	障害者の範囲と				
	10	社会短知中、バッ ①			≇ 羊		
	13	社会福祉サービス①		害者自立支援法	講義		
		障害者サービス(2)		法とそのサービスの内容			
	4.4	払入掘対は、バッ の	障害者差別解消	仏の考え力	業業 ¥		
	14	社会福祉サービス②	子どもの定義	BL 구기성 Will III 호텔 보드시	講義		
		児童家庭福祉サービス		関する条約と児童福祉法			
			児童福祉サービ				
			児童虐待への対	かい			
	1.5	√力 ∃±∃-トⅢ-ヘ	/±′ ==1=4=6				
T: /	15	終講試験	筆記試験				
平価 方法		筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条	こよるものとする				
				保障制度[3] 社会保障・社会福祉	医学書院		
+-1					=		
キスト							

教育内	勺容	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	時期 1年次	科目のねらい		
授業和	斗目	関係法規 I	単位 1単位		基礎について理	解する(法の概令 法会
担当詞	松田 孝緒 担当講師 病院事務職:10年以上 薬剤師経験:10年以上		時間数 15時間	時間数 医事法規概要)厚生行政のしくみな		
教 育	3		 科学的根拠に基づい)	
目標	4	保健・医療・福祉チームの一員と 力を養う	して連携・協働し看記	護を実践できるとともに、国際化の動向:	を踏まえて看護を	:創造するための基礎的
125	口	項目		内容	教授法	関連科目
	1	法の概念	法の概念 衛生法 厚生行政のしく	7 .	講義	基礎分野專門基礎分野
	2 3	保健衛生法	共通保健法 地域保健法 健康增進法 分野別保健法		講義	等円室破ガ野 公衆衛生学 公衆衛生学 社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規Ⅱ
	4		感染症に関する 食品に関する法		講義	専門分野 I
	5 薬務法 6		医薬品、医療	医事一般に関する法律 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の 確保等に関する法律		看護学概論 専門分野 II 成人看護学概論
	7	環境法	環境保全の基本 公害防止の法 自然保護法	不 法	講義	老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論
学習内容						統合分野 在宅看護概論 看護管理·看護倫
谷						
	8	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験(10割)				-1
方法		但し、受験資格は履修規定、第9	条によるものとする			
		系統看護学講座 専門基礎分野	・健康支援と社会保	R障制度[4] 看護関係法令 医学	書 院	

教育	内容	専門基礎分野	時期	科目のねらい			
		健康支援と社会保障制度	3年次	-			
授業	科目	関係法規Ⅱ	単位 1 単位	1単位 看護職に関わる法令を理解する意義について学ぶとともに、法律の			
		藤尾 泰子	1単位 看護職に関わる法令を埋解する意義につい 時間数 する		をについて字ふと	ともに、法律の内容を埋解	
担当		看護師臨床経験:10年以上	15時間	, ,			
,,	111 11-	教育経験:10年以上	10.4144				
教	4		_ て連携・協働し看護	ー を実践できるとともに、国際化の動向を	と踏まえて看護を	創造するための基礎的能	
育目	4	力を養う	#専用職!』で白コ	啓発に励み、生涯にわたり看護を探す	÷1 (生) ナフン欠劫よ.	生ったよの甘林的化力な	
標	5	社会の変化の方向性を理解し、有i 養う	要导門城として日口	合発に励み、生涯にわたり有喪を休み	くし続ける姿勢を:	付っための基礎的配力を	
	口	項目		内容	教授法	関連科目	
	1	法を理解する意義	看護職に関わる法	令を理解する意義	講義·演習	基礎分野	
	2	医事法	/D 64 67 D -> 67 -5 -5	#* & T > 1 .	544 A4 V4 777	専門基礎分野	
		看護関係法	保健師助産師看記		講義・演習	公衆衛生学	
			目的、定義、免討	+、業務、試験 権保の促進に関する法律		公衆衛生学 社会福祉 I	
			有受明寺の人内州	医体の促進に関する仏中		社会福祉Ⅱ	
	3		医行為と診療の補	前助		関係法規I	
			特定行為			124711111111111111111111111111111111111	
			介護施設の喀痰	·吸引		専門分野 I	
						看護学概論	
	4	国民の医療に関する法	医師法		講義·演習		
			医療法			専門分野Ⅱ	
			医療関係資格法			成人看護学概論	
			医療を支える法			老年看護学概論	
	_	医库本状) 计	运体 加加		5# 光	小児看護学概論	
	5	医療事故と法	医療過誤 医療と刑事責任・」	見事事だ	講義	母性看護学概論	
	6		医療と刑事員任・1	大争貝仕		統合分野	
	7	労働法と社会基盤整備	働く者の健康を守	る医療従事者として、労働	講義•演習	在宅看護概論	
学習	·	万朗四で江五本血正师		安全について定めた法律	117-7X 1X E1	看護管理•看護倫理	
内			労働基準法	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
容			労働安全衛生法				
	8	終講試験	筆記試験				
評価	٥	筆記試験(10割)	学 印山代初次			1	
方法		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする				
		系統看護学講座 専門基礎分野 信	建康支援と社会保障	章制度[4] 看護関係法令 医学書	院		
テキスト							